

ゼミ課題

① 美術

(1) 「睡蓮」 モネ：

250枚に渡る睡蓮シリーズの中でもその中でも特に《日本橋と睡蓮》を気に入っている。モネを代表するこの絵画シリーズは見知っておいて損のないものと言えよう。知識として、モネが敷地を拡大購入し池を作り太鼓橋を作成、こだわりと異国情緒の共存といえる庭を作り出したことも頭の片隅に留めておくと良いかもしれない。



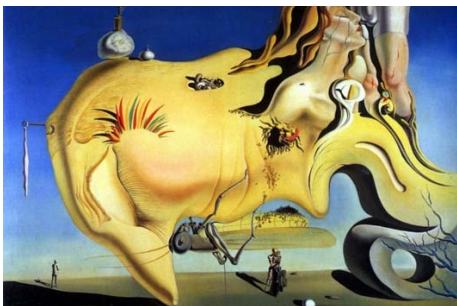
(2) 「記憶の固執の崩壊」 サルバドール・ダリ 1954年

サルバドール・ダリといえば今言った作品のオリジナルである「記憶の固執」(1931年)を思い浮かべるのではないだろうか。この作品は20世紀の量子力学と原子核の時代を象徴したものであり、ダリの偏執的思考などを象徴したオリジナルよりも一層共感できる作品ではないだろうか。



(3) 「大自慰者」 サルバドール・ダリ 1929年

幼い頃父親から受けた性的トラウマ(梅毒患者の画像を見せられた)から性的行為に関して過剰に苦手意識を持っているダリ。この画像では右上に障害の伴侶となるガラと硬直するダリの下半身が描かれている。死と生が描かれた作品。25歳



(4)「会議は踊る、されど進まず」作者不明

世界史を履修していた方々ならば記憶に新しいかもしれないが、ウィーン会議の風刺画であるこれは知っておいて損はないのではないだろうか。当時の列強の利害の錯綜の中開かれた会議の様が上手く皮肉られており世界史をもう一度反芻するきっかけともなるのではないか。



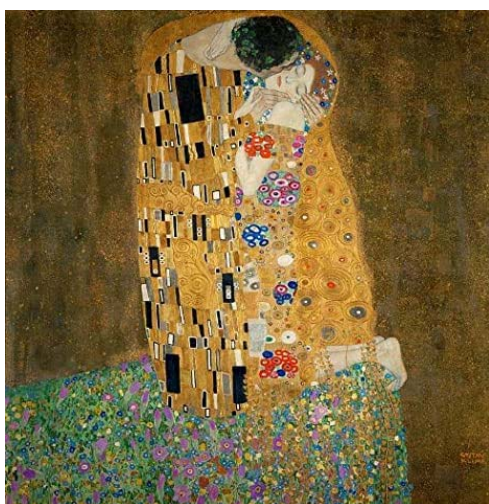
(5)「ゲルニカ」パブロ・ピカソ

解説する必要もないくらい有名だとは思うけど好きなので入れておいた。まさに教養。スペイン内戦について学び直すいいきっかけになるんじゃないかな、と。たくさんの習作も残されている。



(6)「接吻」グスタフ・クリムト

世紀末のウィーンの人々の精神状態を男女の愛に置き換えて表現したもの、だそう。退廃的かつ豪奢世を追い求める様が色彩と金箔によって色鮮やかに描かれているのではないか。



(7) 「猫のせかい」 歌川芳艶(よしつや)

国芳の門下生である芳艶に作品。江戸時代の天保の改革での贅沢禁止令で歌舞伎の役者絵を書くのとか禁止されていたが、役者絵に耳つけてこれは猫の絵ですって言い張って出していたそう。



(8) 「瀬田夕照」 歌川広重による近江八景より

これマジで好き、比良暮雪もいいけど。八つ見てみてください。他に言うことないかなああとはこれに関連して大田南畝の狂歌も日本ならではの言葉遊びって感じでいいね。



(9) 歌川国芳

芳艷が門下生というのが伝わる作品が多い。猫のやつも当然書いているのだが今回はホラー物を抜粋した。



(10) 龍安寺 枯山水の方丈庭園

観覧しに行った際やはりどの角度から見ても1個見えないことに驚いた。あれぞ日本の伝統技術なのだ、と。まさに百聞は一見に如かずと言えるだろう。



教養とは別に鈴木春信の春画も面白い。春画なのでここでは控えたが是非見てほしい。

② 本

(1) 「世界のエリートがやっている 最高の休息法——「脳科学×瞑想」で集中力が高まる」久賀谷亮

題名通り、最高の急速法について述べられた作品。東洋の瞑想などの発想をルーツに体だけではなく脳を休ませることについて小説形式で書かれたエッセーだった。忙しい現代社会において我々が必要としている休息とその理由に関する脳科学的アプローチ、そして実践法がわかりやすく記載されている。大変読みやすい内容なので実践法だけでも読んでいただき実行するといいかもしれない。ちなみに私はいまだにさほど実行できていない。



(2) 「君たちはどう生きるか」吉野源三郎

漫画化もされてるから有名かと感じた。我々と言うよりも少し下の年代の(高校生とか)が読んでもまた違った感想が得られていいかもしれない。コペル君の成長が時に生々しくて面白い。漫画は少し違うらしい。



(3) 「思考の整理学」外山茂比古

こう言う考え方って大事だよな、といい意味で諦める思考が身に付く。



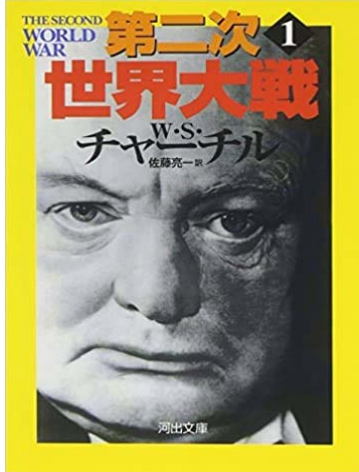
(4) 「女のいない男たち」 村上春樹

村上春樹を読んだことのない人に村上春樹を軽く理解してもらうのにおすすめの作品、かなと。代表作は結構長めなので。村上色を感じるのに最適かと。大学入学する一年に読ませたいというテーマから。



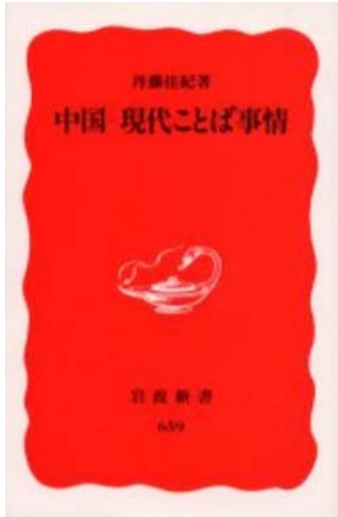
(5) 「第二次世界大戦」 W・S・チャーチル

チャーチル目線で世界史というか対戦は復習できたかな、と。読み物として好きだったので記載したがどうしても暇な時に読むくらいでいいかもしれない。ちなみに第一大戦の方は読んでないけどまあ読めた。読みたい。シンプルに趣味。



(6)「中国 現代ことば事情」丹藤佳紀

これはねえ 2000 年に出版されてるやつなんよ。やから今と全然違うと思う。ここでの例で言うと携帯。大哥大→小姐小→手机。それが面白い。中国語に興味あればぜひひって感じ。

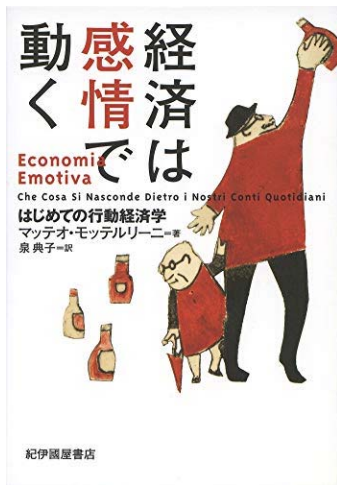


(7)「AI vs.教科書が読めない子供たち」

これは去年有名になったかと思われる。大学入学後というよりむしろなんでこんなこと勉強したいといけないのかと疑問に感じてる高校生とかに読んでほしい。親もこのこと理解して教育に取り組まないと正直書いてある内容は衝撃とかは少なかったのもむしろ再確認って感じで捉えてもらったらいいかも。人間ってすごく馬鹿だなあと言うのを認識したければ併せてファクトフルネスを読むことをお勧めしたい。



(8)「経済は感情で動く」マッテオ・モッテルリーニ



(9)「世界は感情で動く」マッテオ・モッテルリーニ



(10)「オンラインデートで学ぶ経済学」ポール・オイヤー



この上記3つは単なる趣味の行動経済学から抜粋した。またまた人間って馬鹿だけどころ興味深くて面白いなと感じさせられる。最後の(10)は結婚恋愛って関係ないけど関係あるなと感じられる。二年次に作成したレポートも当書がきっかけとなっている。

③ 音楽

(1) ヴィヴァルディ「四季」

<https://www.youtube.com/watch?v=s9yXytkZVEE>

作業用にいい。特に冬が好き

(2) 「惑星」ホルスト

<https://www.youtube.com/watch?v=XFS4zvhdXrM>

冥王星作ってたらどうなったのかなあ、と想像が膨らむ。

(3) 「交響曲第3番」(英雄)ベートーヴェン

<https://www.youtube.com/watch?v=GKFSStVrKNU4>

ナポレオンに捧ぐ曲。ボナパルトという名前をつけるかも迷ったらしい。フランス革命の理念に共感しナポレオンを支持するものであったが、皇帝の座に即位したナポレオンに失望。その後は批判を強めた。小学校くらいの時に漫画世界の伝記をこんなエピソード読んで記憶に残ってたので。

(4) 「ハイドン・セット(ハイドン四重奏)」モーツァルト

<https://www.youtube.com/watch?v=L9HlwFVU7D0&list=PLBjoEdEVMABIM6WdeK2HhnZ8vrydGjtvo>

モーツァルトがハイドンに献呈するために作った弦楽四重奏6曲をさす。ハイドンとモーツァルトの関係性を見るにおいて教養としてその背景を踏まえ欠かせない作品かなとおもったので。

(5) 「トルコ行進曲」モーツァルト

<https://www.youtube.com/watch?v=exhiil4J5NU>

小学生の時に弾いてなんとなくまだ覚えてるもの。短く楽しくて聞きやすいのでクラシック初心者にも聞き覚えがあったりとても入りやすいかな、と。シューベルトとかベートーヴェンとかいろいろあるけどこれが好き。

(6) 「Ich liebe dich」ベートーヴェン作曲 KF ローゼー作詞「優しき愛(Zärtliche Liebe)」

<https://www.youtube.com/watch?v=Rgk5nPOIXSU>

高校の時歌ってまだ覚えているもの。歌詞が好き。バリトン独唱なども併せて聞いていただきたい。

歌詞・日本語訳（意識）

Ich liebe dich, so wie du mich,
am Abend und am Morgen,
noch war kein Tag, wo du und ich
nicht teilten unsre Sorgen.

僕は君を愛している 君が僕を愛するように
朝も晩も 一日もかけることなく
僕らは憂いを分かち合う

Auch waren sie für dich und mich
geteilt leicht zu ertragen;
du tröstetest im Kummer mich,
ich weint in deine Klagen.

君と共に分かち合う
君は僕の苦悩を慰め
僕は君の嘆きに泣く

Drum Gottes Segen über dir,
du, meines Lebens Freude.
Gott schütze dich, erhalt dich mir,
schütz und erhalt uns beide!

君に神の祝福あれ
君は僕の命の喜び
神は君を守り 僕を救う
僕らに神のご加護があらんことを！

(7) 「からたちの花」 作詞：北原白秋、作曲：山田耕作

<https://www.youtube.com/watch?v=aq7rhX88l40>

童謡、クラシックではないが、、文化創作運動である「赤い鳥運動」を代表する楽曲であることから教養として扱ってもいいかな、と。母校の校歌の作詞作曲と同じなのでその点からも興味を惹かれた。

(8) 「アルルの女」 ビゼー第2楽曲3メヌエット

<https://www.youtube.com/watch?v=DxUYsJaGaBA>

クラシックで最初にサクソを使った曲らしい。Youtubeのコメント欄曰く山賊を表しているそう。調べが甘く、真偽不明。

(9) 「夏の夜の夢」序曲メンデルスゾーン

<https://www.youtube.com/watch?v=38IyL968anM>

序曲よりも付随作品 61 のほうが日本では親しまれているかもしれない。結婚行進曲など。

3:15あたりが個人的には好みだった。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/夏の夜の夢>

(10) 「エリーゼのために」 ベートーヴェン

<https://www.youtube.com/watch?v=3KHNIsuSQE8>

この曲ベートーヴェンの親しい友人とされてるテレゼ・マルファッティに送ったものだそうだが、この時テレゼ18歳ベートーヴェン40歳というのが衝撃だった。